

米艦8隻 災害派遣

50カ国・地域、支援申し出

日本の大震災への対応について米太平洋艦隊は11日、「地震と津波の救援のため、西太平洋の米艦が日本に集結しつつある」とし、米海軍と海兵隊の空母や揚陸艦計8隻の災害派遣を発表した。

ヘリコプターを搭載するドック型揚陸艦トーチュガがすでに米海軍佐世保基地を出港。空母ロナルド・レーガンと駆逐艦など計3隻が太平洋から本州東岸に向かっているほか、エセックスなど強襲揚陸艦3隻が人道・災害支援対応を目的に東京沖に入る。また、揚陸指揮艦ブルーリッジはシンガポールで救援物資を積み込み、日本に向かうという。ゲーツ米国防長官は同日、訪問先の中東バーレーンで、「可能な限りの支援をする準備がある」と語った。

外務省は12日、東日本大震災の被災地支援の申し出が午前8時現在で米国、韓国、中国、オーストラリア、台湾など50カ国・地域からあった、と発表した。救助チームの派遣や支援物資の提供などの申し出があるという。このうち、韓国政府の救助チームが12日中に日本に到着する見通しだ。